

Musashino Art University

文部科学省 後援事業
**「東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.03
at 武蔵野美術大学」開催**
2014 年 7 月 26 日(土)@武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

武蔵野美術大学（東京都小平市、学長 甲田洋二）は、2014 年 7 月 26 日（土）に、在学生や 35 歳以下の本学卒若手クリエイター達によるトークセッション「東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.03 at 武蔵野美術大学」を開催します。

2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催決定を機に結成された「東京デザイン 2020 フォーラム」（構成組織：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、日本デザイン学会）は、これまで 2 回のオープンセッションを行っており、本学との共催で第 3 回を迎えることになりました。

1964 年東京オリンピックから半世紀を過ぎた今、新たなデザインの楔を打つ場が必要と考え、本学主催で行う Vol.03 では、デザイン系学科研究室から推薦された学生や 35 歳以下（UNDER-35）の本学卒若手クリエイターを「クリエイティブ・アスリート」と名付け、ライトニングトーク形式（5～10 分のプレゼンテーション）による熱いメッセージを発信します。社会やデザインの活性化、文化・芸術の必要性など、2020 年に向けて私たちが今やるべきことを共に考える場となるでしょう。

なお、この事業における美術・デザイン分野の今後の可能性や拡がり、将来を担う若手デザイナーの近未来への挑戦が文部科学省に認められ、この度「文部科学省後援事業」に認定されました。

<開催概要>

東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.03 at 武蔵野美術大学

「クリエイティブ・アスリートの主張」

●開催日： 2014 年 7 月 26 日（土） 14:00-17:00（13:30 開場）

●会 場： 武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 1 号館 104 第 2 講義室
（東京都小平市小川町 1-736）

●主 催： 武蔵野美術大学

●共 催： 東京デザイン 2020 フォーラム

（公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、日本デザイン学会）

●後 援： 文部科学省

●参加費： 無料

●定 員： 200 名 （要・事前申込み。どなたでも参加できます）

●聴講申込方法：E-mailにて受付

メール件名に「オープンセッション参加希望」と明記の上、本文に「お名前・お仕事または学校名・連絡先電話番号」を記入して下記アドレスまで送信ください。

・申込先メールアドレス（武蔵野美術大学 企画部） tokyo-design2020@musabi.ac.jp

◆クリエイティブ・アスリート[学生部門]登壇者・ライトニングトークタイトル（予定）

・視覚伝達デザイン学科 三橋 光太郎、丸山 太央、丸山 絵梨子、大木 錦之助、岡本 若葉、大熊 仁、太田 千香子、宮本 奈緒美、大三島 弘女

タイトル： 忍法！文化競技の術！

・工芸工業デザイン学科 大嶋 洋二郎、須田 亘、下垣内 がく

タイトル： 「モノを作る」ということ

・空間演出デザイン学科 木村 光

タイトル： 人生が変わる瞬間を作るために

・建築学科 奥泉 理佐子

タイトル 未定

・基礎デザイン学科 小山 あきら、坪内 秋帆、宮寺 和夏子、西田 啓二、原田 あゆみ、畑井 裕紀子

タイトル： 世界を親戚に ～OMIYAGE プロジェクト～

・映像学科 今井 新、畑 雄樹

タイトル： 東京ばんざい

・芸術文化学科 堤 瑛里子

タイトル： 磨け！妄想力

・デザイン情報学科 片田 紗葵

タイトル： 考え方を「デザイン」にすれば日本は変わる

◆クリエイティブ・アスリート[UNDER-35 部門]登壇者・ライトニングトークタイトル（予定）

* 登壇者プロフィールは別紙参照

・矢後 直規[アートディレクター・グラフィックデザイナー]

タイトル： ローカルとグローバル

・小林 幹也[デザイナー 兼 店主]

タイトル： スポーツとデザイン

・角田 真祐子[デザイナー・minna 代表取締役社長]

タイトル： みんなのチカラになるデザイン

・伊藤 友紀[建築家]

タイトル： 「場をつくる、場を再発見する、場の地図をつくる。」

ー 建築家にできる3つのアプローチ ー

・伊賀 千恵[デザイナー・プランナー]

タイトル： Beautiful Japanese culture

・加藤 晃央[株式会社モーフィング代表取締役]

タイトル： 脱美大

・池澤 樹[アートディレクター・グラフィックデザイナー]

タイトル： クリエイティブコンテンツ東京。

◆特設 Facebook ページがスタートしました！

<http://www.facebook.com/tokyodesign2020atMAU>

◆Vol. 01、Vol. 02 の動画・テキストは下記東京デザイン 2020 フォーラムサイトをご覧ください。

<http://tokyo-design2020.jp/>

◆トピックス：

武蔵野美術大学は 2020 年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と連携協定を締結しました！

本学は、2014 年 6 月 23 日（月）に 2020 年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と連携協定を締結しました。

連携協定は、組織委員会と全国の大学が連携し、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会機運の醸成等の取組を進めることを目的としています。



●取材申込・プレスリリース問い合わせ先：武蔵野美術大学 企画部（担当：鈴木、千羽）

Tel. 042-342-7945 | mail.tokyo-design2020@musabi.ac.jp



<ポスター画像>

■クリエイティブ・アスリート[UNDER-35 部門]登壇者プロフィール（発表順）



●矢後 直規[アートディレクター・グラフィックデザイナー]

静岡県生まれ。2009年武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業、同年博報堂入社。2014年、ニューヨーク ADC 賞ブロンズ、D&AD 賞 in book、TDC 賞ノミネート、2012年、ADC 賞プレノミネート、ヤング・ロータス国内選考優秀賞、ヤングスパイクス シルバー、2007年カラーイメージングコンテスト勝井三雄賞など。2012年オリジナルアートワーク「PAPER LEAF」を発表し、250㎡のギャラリーで大規模なインスタレーション展を開催。



●小林 幹也[デザイナー 兼 店主]

東京都生まれ。2005年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。インテリアデザイン会社勤務後、MIKIYA KOBAYASHI DESIGN 設立。家具、プロダクトからインテリアデザインまで「生活に寄り添ってさりげなく支える」デザインを国内外の企業とともに提案しています。2010年ドイツの iF product design award にて金賞、ドイツ red dot award、adc 賞など受賞歴多数。2011年には自身の事務所にショップ「TAIYOU no SHITA」を東京都目黒区にオープン。2012年 株式会社小林幹也スタジオ設立。



●角田 真祐子[デザイナー・minna 代表取締役社長]

神奈川県三浦市生まれ。2008年武蔵野美術大学空間演出デザイン学科卒業、2013年まで同学科研究室助手勤務。2009年長谷川哲士と共にデザインチーム minna を設立。2013年株式会社ミンナとして法人化。【みんな】のために【みんな】のことを【みんな】でやるをコンセプトに、グラフィックやプロダクトなどのジャンルにとらわれず、領域を越えて幅広くデザインを行う。グッドデザイン賞受賞等、他受賞多数。



●伊藤 友紀[建築家]

東京都生まれ。2007年武蔵野美術大学建築学科卒業。2009年同大学院修了。学生時代から「私たちの周りにある環境や芸術や家具や時間や人間の行為など、建築以外のものから生まれる現象のような建築像」について考え続ける。2011年伊東建築塾入塾。JIA 全国卒業設計コンクール金賞、武蔵野美術大学学校賞、同大学ゲスト講評会藤本壮介特別賞、同大学院学校賞、2008年アジア建築家評議会 ARCASIA student Jamboree 派遣。2011年社団法人愛知建築士会名古屋北支部建築コンクール佳作入賞。



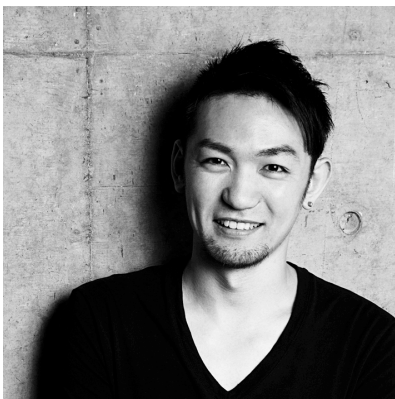
●伊賀 千恵[デザイナー・プランナー]

北海道生まれ。2007年武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業。化粧品会社にてプランナーとして従事後、(株)電通 営業局に入社。TVCMなどのクリエイティブ制作、メディアプランニング、プロモーションやキャンペーン企画実施などのクライアントワークに従事。またプライベートでも様々なデザイン、イベント、プロジェクト活動を行う。



●加藤 晃央[株式会社モーフィング代表取締役]

長野県生まれ。2006年武蔵野美術大学芸術文化学科卒業。大学3年時、数々の挫折から「脱美大」を図り、独立系ベンチャーキャピタルでインターン。内定を断り、学部4年時に起業しモーフィングを設立。2008年、株式会社ティモテに加入。2014年、京都を拠点とする世界株式会社を設立。いくつかの組織間の横断を通じて、立ち位置を模索中。



●池澤 樹[アートディレクター・グラフィックデザイナー]

神奈川生まれ。2004年武蔵野美術大学デザイン情報学科卒業。東急エージェンシーを経て、2014年博報堂に入社。主な受賞歴に東京ADC賞、JAGDA新人賞、JAGDA賞、カンヌ国際広告祭金賞、スパイクアジア金賞、NYADC銀賞、ADFEST銀賞、ロンドン国際広告賞銀賞、朝日広告賞部門賞、毎日広告デザイン賞優秀賞、読売広告大賞優秀賞、ベストデビュタント賞など受賞。主な仕事に、サントリー「白州」、東京ミッドタウン「デザインタッチ」、日本郵政「ゆうパック」、東京急行電鉄キャラクターデザイン「のるるん」など。日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）会員、宣伝会議アートディレクター養成講座講師。